報道関係各位　　2026 年 7 月 16 日

京都女子大学

【京都女子大学】料理研究家・土井善晴氏が登壇 「食」をジェンダー視点で見つめ直す公開講座 8/1(土)開催

～2027 年「食科学部」開設に向け、家庭料理とジェンダーの関係をひもとく～

京都女子大学（所在：京都市東山区/学長：竹安栄子）ジェンダー教育研究所は、2026 年度連続講座「食とジェンダー」（全 2 回）の第 1 回を、2026 年 8 月 1 日（土）に本学校舎およびオンライン配信にて開催いたします。

第 1 回となる今回は、料理研究家であり本学客員教授の土井善晴氏が登壇。「料理を正しく理解し、論理的に行動すれば、自ずからジェンダー論になるのではないか」をテーマに、家庭料理の本質から紐解くジェンダー論についてご講演いただきます。また、本所副所長である表真美特任教授による「食卓と家族」をテーマにしたコメント発信や、研究所メンバーを交えた鼎談を実施いたします。参加費は無料で、一般の方もご参加いただけます。また、当日のイベントの様子、および登壇者・本学への取材・撮影が可能です。取材をご希望される場合は、お手数ですが 7 月 31 日（金）17 時までに下記「京都女子大学広報デスク」までご連絡いただけますようお願い申し上げます。



■企画背景

本学は、長年にわたりジェンダー平等の推進や女性のエンパワーメントに向けた教育・研究を実践してきました。昨年公表した「女子大学宣言」は、これからの社会における女子大学の使命とともに、私たちがこれまで積み重ねてきたその姿勢を改めて明文化したものです。また令和 4 年 10 月には「ジェンダー教育研究所」を設置し、ジェンダーに関連するシンポジウム開催や『女性参政資料集 2023 年版　全地方議会女性議員の現状』（公益財団法人市川房枝記念会女性と政治センターとの共催事業）刊行など社会における多様性の尊重とジェンダー平等の実現に寄与しています。

私たちは誰もが毎日「食」に関わっています。生存や健康のためだけでなく、家庭での営みや役割、生産者・消費者としての立場など、食の裾野は非常に広く、そこには長らく固定化されてきたジェンダーの課題（家事負担の偏り、無意識の思い込みなど）が深く潜んでいます。

本学では、2027 年 4 月に新たに「食科学部」の開設を予定しています（食物栄養学科、食マネジメント学科の 2 学科体制）。食が誰にとっても当事者性のあるテーマであるからこそ、普遍的な「食」をジェンダー視点から見つめ直し、社会全体で楽しく、かつ深く議論する機会を提供したいと考えています。

■本講座の見どころ

①土井善晴氏による「料理×ジェンダー」の独自の視点
日々の食事作りによる負担を軽減し、料理本来の楽しさを伝えてきた土井氏が、「料理の論理的行動」がどのように「ジェンダー論」に結びつくのかを語ります。

②『食卓と家族』の著者・表真美氏との鼎談
第1部の後半では、「食卓と家族」を研究テーマとする本学ジェンダー教育研究所副所長・表真美特任教授がコメント。第2部では、土井氏、表氏、研究所メンバーによる鼎談を通じて、食と家族、そしてジェンダーの複雑な関係性をさらに深掘りします。

■開催概要

イベント名：2026年度 京都女子大学ジェンダー教育研究所 連続講座［第1回］「食とジェンダー」
日　　時：2026年8月1日（土）15:30〜17:30
会　　場：京都女子大学 A校舎 学園講堂 ＋ YouTube同時配信
参加費　　：無料
定　　員：会場参加（先着350名）／ オンライン参加（定員なし）
対　　象：学生、一般の方、メディア関係者
申込方法　：以下の専用フォームより事前にお申し込みください。
【申込URL】 https://forms.gle/xey1Za8QNyFWRE1r5
申込締切　：開催日の3日前まで

■プログラム

開会の辞：竹安 栄子（京都女子大学学長）
第一部 講演
土井善晴（京都女子大学客員教授／料理研究家）
「料理を正しく理解し、論理的に行動すれば、自ずからジェンダー論になるのではないか」
コメント：表 真美（京都女子大学ジェンダー教育研究所副所長）　研究テーマ「食卓と家族」
休憩
第二部 鼎談
土井 善晴・表 真美・古久保 さくら（同研究所特定教授）
モデレーター：手嶋 昭子（同研究所所長）
閉会挨拶：手嶋 昭子

■プロフィール

土井 善晴
1957年生。料理研究家、「おいしいもの研究所」代表。渡仏し仏料理、大阪にて日本料理を修業後、家庭料理研究の道へ。
・十文字学園女子大学副学長
・京都女子大学客員教授
・多摩美術大学客員教授
・甲子園短期大学、甲子園大学客員教授
・東京大学先端科学技術研究センター客員研究員
・外務省職員研修所日本文化講師
著書に『一汁一菜でよいという提案』累計44万部（新潮文庫）他多数。家庭料理を再評価する食事学研究により2022年文化庁長官表彰を受ける。

表 真美
京都女子大学発達教育学部教育学科 特任教授
著書に『食卓と家族』（世界思想社）など

【報道関係のお問い合わせ先】
京都女子大学広報デスク（ラプレ内）担当：香川・田村
TEL：06-4708-3766　E-mail:pr@raple.co.jp
京都女子大学　入試広報課　岡橋・亀井・竹縄 TEL：075-531-7054

京都女子大学 広報デスク（ラプレ内）香川・田村宛

ご出席返信シート送付先

※以下いずれかの方法にてお申込みください

ＦＡＸ：06-6233-8778

MAIL：pr@raple.co.jp

京都女子大学 ジェンダー教育研究所連続講座 「食とジェンダー」（第１回）

【日時】2026 年 8 月 1 日(土)15 時 30 分～17 時 30 分

【場所】京都女子大学 A 校舎 学園講堂

取材可能者（対応可能時間：13 時 30 分～14 時 30 分）

京都女子大学学長 竹安 栄子

京都女子大学ジェンダー教育研究所 所長 手嶋 昭子

京都女子大学ジェンダー教育研究所 副所長 表 真美

京都女子大学 特命副学長（食マネジメント学科設置計画推進） 櫻井 克年

京都女子大学 客員教授 土井 善晴

※カメラ・ムービー位置は先着順とさせていただきます。
※カメラ台（ムービー）、音声ラインの用意はございません。
※関係者および一般来場者をご招待しております。予めご了承ください。
※駐車場のご用意はございません。お車の場合は、お近くの有料駐車場をご利用ください。

※会場準備の都合上、当日ご取材いただける方は、7月31日（金）17時までに添付の返信用紙をメールもしくはFAXにて上記広報デスクまでお送りくださいますようお願い申し上げます。

貴社名		貴媒体名	
部署名		掲載予定日	年　月　日
ご芳名	他　名様		
ご撮影	ムービー　台 / スチール　台		
ご連絡先	TEL：　MAIL：		
当日ご連絡先	TEL：		
個別取材	□希望する（対象者名:　）		□希望しない